

長島 俊輔 (大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務)

2. 学術論文

- 1) その他 (報告等), 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋 恭子, 五味郁子, 水戸優子. , 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ. , 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2) , 127-137, 10. 32217/jaipe. 17. 2_146
- 2) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52, なし

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 長島俊輔, 森朱輝, 細谷陽, 水戸優子, Augmented Reality技術を活用した看護技術教材の教育的効果の検証, 第6回 看護人間工学会 学術集会, 2024年09月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会, 研究活動推進委員, 2024. 4. 1～
- 2) 日本看護技術学会, 専任査読員, 2024. 4. 1～
- 3) 日本看護学教育学会, 編集委員, 2024. 8. 1～
- 4) 日本看護学教育学会, 未来の看護を創る次世代教育チーム・チームリーダー, 2025. 1. 1～

6. 社会貢献

- 1) ジョブポンププロジェクト, 2024. 4. 1～, 障がい者雇用創出を目的とした古本回収事業において、ブックポストの設置と管理
- 2) オープンキャンパス 実習室担当, 2024. 8. 4
- 3) ニューカッスル大学との交流企画, 2024. 12. 4

7. 講演, 放送

- 1) FMブルー湘南 (78. 5MHz) 遊びに来ませんかスタジオへ、「これであなたも快眠に? 睡眠と体内時計のお話し」, 2024. 5. 13
- 2) かまくらシニア健康大学、「シニア世代の睡眠を知る～体内時計の整え方～」, 2024. 6. 25
- 3) 学内研究発表会 (渡邊恵代表) 教育用模擬電子カルテでの情報共有を基盤とした教育実践

報告—これからの保健医療福祉を担う学生の学びと看護実践能力の検討—, 2025. 3. 7

- 4) 学内研究発表会（渡邊恵代表） 2年次看護学生の情動知能（Emotional Intelligence）の変化と学びの様相にみる教育方法の一考察, 2025. 3. 7
- 5) 学内研究発表会（佐々木杏子代表） 実習前の地域住民参加型演習に関する実践報告—演習に参加した地域住民ボランティアの満足度と今後に向けた課題—, 2025. 3. 7
- 6) 学内研究発表会（黒河内仙奈代表） 地域特性を反映した領域横断型学習教材うみかぜラーニングマップ, 2025. 3. 7

8. 学会等での活動

- 1) 日本看護学教育学会第34回学術集会 交流集会「教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育む～IPEを通した看護実践能力の強化～」, 2024. 8. 19
- 2) 日本看護技術学会第22回学術集会 交流セッション「第6回若手の会 若手研究者交流の場～あなたの悩みはみんなの悩み、統計を学べるカフェテリアへようこそ～」, 2024. 10. 25
- 3) 第6回看護人間工学会学術集会 ハイブリッド配信の支援, 2024. 9. 14
- 4) 日本看護学教育学会 倫理委員会主催「看護学教育における倫理を考えるセミナー」ウェビナー配信の支援, 2025. 1. 14

9. 学内教育活動

1) 学部

モデル人形等を用いた体験型看護技術演習（看護技術論Ⅰ・Ⅱ）, 2024. 4~2025. 3
教育用模擬電子カルテを活用した看護技術演習、看護過程演習（看護技術論Ⅱ・Ⅲ）, 2024. 4~2025. 3
多重課題型・状況設定型技術試験（看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント論）, 2024. 4~2025. 3
地域住民参加型演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11
実習施設の看護師参加型ユニフィケーション演習の運営（看護技術論Ⅰ）, 2024. 11
臨地実習指導（基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅲ、統合実習）, 2024. 4~2025. 3
統合実習計画書作成の指導（統合実習）, 2024. 4~2024. 5
文献検索・クリティーク指導、プレゼンテーション指導（卒業研究）, 2024. 4~2025. 1
アカデミックライティング・アカデミックプレゼンテーションの指導（Academic Writing補講）, 2024. 9~2025. 2

2) 博士前期課程

国際交流を目的とした演習の計画（国際看護交流演習）, 2024. 4~2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 全学図書委員会, 2024. 4～2025. 3
- 2) 看護学科実習委員会, 2024. 4～2025. 3
- 3) JABNE看護学教育評価ワーキング, 2024. 4～2025. 3
- 4) 看護領域研究科委員会, 2024. 4～2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 若手研究, 代表者, 長島俊輔, 視覚と聴覚による新しい点滴流量調整方法の検証と開発, 3, 900千円, 2023年04月, 2026年03月
- 2) 基盤研究 (C), 分担者, 加藤木真史 (研究代表者), 加藤京里, 栗田愛, 菅原啓太, 長島俊輔, 2週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立, 4, 030千円, 2022年04月, 2026年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 分担者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子ほか3名, 情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 ―2年次看護学生の縦断調査より―, 310千円, 2024年07月, 2025年03月
- 2) 研究助成 A (協働研究), 分担者, 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平 ほか5名, 地域特性を反映した領域横断型学習教材を用いた授業の展開と評価―学生と教材作成に参加した地域住民への効果の評価―, 429千円, 2024年05月, 2025年03月